



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

276 通信

ガバナー月信
SEPTEMBER 1994

NO. 4

1994~1995年度、国際ロータリー会長のテーマ

BE A FRIEND

友達に なるう。

R.I.会長/ビル H. ハントレー

[青少年活動月間]



きれいな宇宙を
子供や孫たちに残していこう!

1994~1995年国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

事務所/〒451 名古屋市西区穂の口町3-19

ホテルナゴヤキャッスル 427号室

TEL.(052)521-2121 FAX.(052)523-1998

ビル・ハントレーR.I.会長、 カーター元大統領と会見。



国際ロータリーのビル・ハントレー会長およびオードリー夫人は、この4月にロータリー国際理解賞の受賞者に選ばれたジミー・カーター元米国大統領を訪問し、米国ジョージア州アトランタにおいて、カーター元米国大統領およびロザリン夫人（中央）と歓談されました。

本賞は、ロータリーからロータリアン以外の人に授与される最高の栄誉で、米貨10万ドルの賞金が含まれています。カーター氏は、西半球における協力、平和および民主政治を推進しているカーター・センターの自由選挙による政府指導者評議会の支援活動のために同賞金の用途を、指定されました。

台北市におけるロータリーの国際大会で行われた同賞の授与式には、カーター氏の代理として、アトランタに本部を置くカーター・センター事務局長のジョン・ハードマン博士が出席されました。カーター氏は、国際ロータリー大会の開催時には、アジア諸国に核の脅威を与えた重大な危機を回避する交渉を支

援するため、北朝鮮において同国の政府首脳との会談に当たっておられました。

ハードマン博士は、ロータリー国際理解賞の象徴である炎の形をしたクリスタルを手に、本会議の参加者に向かって、「もしもカーター元大統領がこの場におられたならば、全世界に対する奉仕活動と世界の諸問題の軽減のために模範的な例を示しておられる皆さん全員に対して敬意を表されたに相違ありません」と述べられました。

ロータリー国際理解賞のこれまでの受賞者には、アルバート・セイビン博士、ポーランド共和国のバツラフ・ハベル元大統領といった著名な人々から、ネパールでの医療奉仕に献身された岩村昇博士、開発途上国において眼科治療の向上のために生涯を捧げられたフレデリック・ハロー博士やヨーロッパ中部および東部における民主主義の台頭に伴い人道的な援助や教育活動の実践に尽くされたエドワード・ピーゼック氏のような人々も含まれています。

青少年活動月間

「青少年活動月間にちなんで」

今こそ、次代を担う青少年が参加できる積極的な活動を！



地区青少年活動委員会

委員長 宮本 昌幸

ロータリーの青少年活動は、青少年の育成に対し、精神的にも身体的にも道徳の面においても、すべてに健全であり、豊かさをはぐくむ人間造りに、メンバー各人もクラブとしても、これに適うための努力と推進を図ることが最大の目的です。

ロータリーの奉仕活動は、実際には、大変広範囲かつ多岐にわたるものでありますが、その中でも、この青少年活動は近年最も力を入れている活動分野の一つです。本年度ビル・ハントレーR. I. 会長も非行少年の更生に長い間尽力された立場からその活動を重視され、より一層の強化を要請されております。

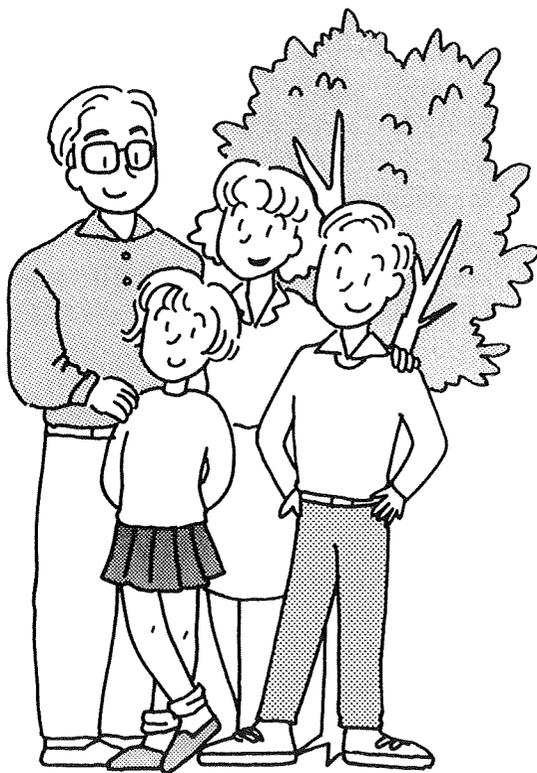
ロータリアンは青少年の模範となるべきであるというスローガンに示されております通り、次代を担う青少年を、ロータリーという訓練の場で鍛え、よりよい社会の形成に役立つものとしなければなりません。

対象となる高校、大学、社会には、いずれも火をつければ必ず燃える「奉仕の精神」を持っている若者が大勢います。ロータリークラブはその機会をつくる力をもっていますから、提唱に踏み切るコンセンサスを固める必要があると思います。

私たちはI. A. C. やR. A. C. を主体として、その周辺の若者達に自ら社会奉仕をすることの大切さを示す必要があり、こうした活動を通じ、未来の社会が若人の肩にかかっていることを自覚させることが大切ではないで

しょうか。

最近、環境保全の問題が日本ばかりでなく、地球規模でますます重要になってきている今日、青少年活動においても是非次代を担う若い人々に、環境保全問題をよく理解していただき、環境保全のための活動に参加してもらうような活動を積極的に行うことが、これからますます必要であると考えます。



青少年活動について

「ローターアクトは運命共同体」

「時代は、今インターアクト」



地区インターアクト(小)委員会
委員長 松前 憲典

青少年活動の中の「インターアクト」について報告致します。I. A. C. は、奉仕と国際理解に献身する青少年のためのロータリー提唱の世界的奉仕団体であります。I. A. C. は、世界で約百カ国、7千クラブ、16万人が参加している最大のものであります。2760地区は、11のI. A. C. があり、インターアクターは約400名が参加し、地域と学校での福祉活動と、国際理解、国際交流に活躍しております。

蜂谷ガバナーは、青少年活動に深い理解を示され、重要視されております。次の世代を担う青少年の皆さんが、ロータリーの考えている奉仕の理想に少しでも近づいていただくことを期待しているからであります。奉仕の理想とは、他人のことを思いやり、他人のために役立つとする奉仕の心を実行に移すことでもあります。

平成6年度から適用されます新高等学校指導要領においても、「心豊かな人間の形成」と「国際理解の推進」は大きな柱としてとりあげられています。この意味からしても、このI. A. 活動は、まさに時代と社会が、今求めているものであると言えます。

インターアクトの歌 作詩作曲 藤山一郎

ここに集いしわれらは 誇りも高し インターアクト
地域社会に奉仕の理想 示せいまこそ そのまこと
ほほえみをもて さしのべよ手を 世界を結ぼう
インターアクトわれら

奉仕と国際理解に対する意識を高め、理解を深め、インターアクトの歌と共に活動してまいります。



地区ローターアクト(小)委員会
委員長 野崎 洋二

私がかねてより当地区のロータリー活動が、国内は元より世界的にも非常に高い水準にあるにもかかわらず、ローターアクトクラブの提唱率の低さを痛感し、地区大会や地区協議会等で皆様方にその実態をご報告して参りました。そして一つでも多くのR. A. C. 拡大を目指して努力して参りましたが、1992年1月に地区内9番目となる東海R. A. C. が創立されたにとどまっております。私共委員会と致しましては今後も地道に努力を重ねる所存でございます。

次に私は提唱RCも含め、一般のロータリアンの皆様方にローターアクトの事を知って頂く必要があると考えます。私は去る3月12日、13日に兵庫県淡路島で開かれた1993~'94年度R. I. アジア第1・第3ゾーンのローターアクト研修会に出席し、全国のR. A. 関係者と情報交換等致し、大変よい勉強をさせて頂きました。R. A. に関する多くの問題が掲げられましたが、それらの中で特に共通した問題として指摘されたのは、やはりロータリアンのローターアクトに対する認識不足でありました。私はそれらの問題を踏まえ、R. A. を含めた青少年活動について正しい理解が必要ではないかと考えます。今後は一人でも多くのロータリアンの方々にR. A. を知って頂く様PRに努めたいと思います。

かつて名古屋南RCの、今は亡き川瀬保バスターガバナーがローターアクトについて「彼らと一緒に奉仕活動をしよう！そして我々ロータリアンに出来ない事を若い彼らにやってもらおうではないか！それこそが真の奉仕活動なのだ！」とおっしゃいました。

私はロータリーとローターアクトは正に「運命共同体」であると思います。

皆様方の青少年活動に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1994～'95年度 I.A.C.海外派遣者名簿

学 校 名	氏 名	学年
豊 川 高 校	磯貝 成雄(男)	3年
	鎌倉 正行(男)	3年
豊 田 高 専	坂元 周作(男)	3年
	永井 大悟(男)	3年
	服部 美和(女)	2年
豊 橋 商 業	門脇 尚子(女)	3年
	波田野恵子(女)	3年
	杉浦 綾(女)	3年
岡 崎 城 西	水足 京太(男)	3年
	藤井 典明(男)	3年
	堀井信太郎(男)	3年
岡 崎 学 園	鈴木 美貴(女)	3年
	荒川 舞(女)	3年
	大竹 恭子(女)	3年

学 校 名	氏 名	学年
名古屋市立名東	前田 悠里(女)	2年
名古屋短大付属	松山 慶子(女)	2年
安 城 学 園	左右田浩美(女)	3年
	鈴木 志帆(女)	3年
	榎本 智予(女)	3年
津 島 女 子	勝村 未佳(女)	3年
	田島 淳子(女)	3年
一 宮 女 子	江崎 瞳(女)	2年
	佐治 智子(女)	2年
	野村 知子(女)	2年
光ヶ丘女子	浅山 友美(女)	2年
	石川 一美(女)	2年
	長坂 由美(女)	2年
阿 久 比	伊藤えりこ(女)	3年
	山崎しのぶ(女)	3年



「ライラセミナーに参加しよう」



地区ライラ(小)委員会

委員長 **岡戸 麻一**

今年度の地区協議会の分科会において、委員長さんの大半の方々が、今回はじめてライラ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）という言葉聞いたと述べられた現実に、地区ライラ委員会として、深い反省をすると共に、各クラブに対する情報提供の在り方を再検討する必要性を痛感いたしました。

当地区がライラ研究委員会を設置したのが4年前で、2年間他地区のライラセミナーに参加研究の上、3年目に岡崎東ロータリークラブが第一回セミナー

を開催され、昨年度は春日井ロータリークラブが1泊2日の日程で第二回ライラセミナーを成功裡に実施していただきました。受講生から寄せられた感想文には、記念講演、グループ別懇談会等大変感激した、有意義であった、等々ホスト春日井ロータリークラブへの感謝の言葉もたくさん記されていました。

青少年の為の奉仕ではなく、青少年と共に活動するライラの主意と目的を充分ご理解の上、全クラブ挙ってご参加いただき、優秀な青少年指導者の養成には是非お力をお貸しくださいますようお願い申し上げます。

今年度ライラセミナー開催予定

1. と き 1995年3月18日(土)～19日(日)
2. 場 所 知多郡美浜町
愛知県美浜少年自然の家
3. ホスト 東知多ロータリークラブ

第5回インターアクトクラブ協議会

勇気と感動の大会に 500名が集う。

インターアクトクラブは、ロータリークラブがサポートしている世界的な青少年による社会奉仕団体です。現在第2760地区には11クラブがあり、さまざまな社会奉仕活動や国際理解・交流などを展開しています。

年に一回、協議会を開催し、共に学び、会員同志の交流を図っています。

第5回（通算第31回）R. I. 第2760地区 I. A. C. 協議会は、去る7月31日（日）、午前9時30分から午後5時まで、名古屋港湾会館大ホールにおいて、名古屋ロータリークラブ及び名古屋インターアクトクラブのホストによって開催され、西尾武喜名古屋市長をはじめ、渡辺巨祥県立豊橋商業高校長、櫻井梅弘安城学園高校長、平野善計県立阿久比高校長、高嶋敬県立千種高校長等の来賓、また、第2760地区蜂谷弘道ガバナーをはじめ、高澤 隆・盛田和昭・宮地信尚パストガバナー、石川和昌ガバナーノミニー、森 武保地区幹事、朽木義一名古屋第1分区代理、



地区インターアクト(小)委員会
委員長 松前 憲典
副委員長 坂本 康信

宮本地区青少年活動委員長、小保川同副委員長、地区インターアクト委員、そしてインターアクトクラブ会員・顧問の先生400名、関係ロータリアン100名、合計約500名が参加し、盛会でした。

今回の協議会は、今までと少し角度を変えて、テーマに「ボランティアを考える」を掲げ、種々のプログラムを通して、人間の行動の原動力である「感動」をインプットする協議会として展開されました。



インターアクトクラブ協議会のために

青少年諸君よ！

人間の真心を培って私たちの
志を受け継いでください。



国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

1994～'95年度インターアクトクラブ地区協議会が名古屋市に於いて盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

私達ロータリアンは、自分の職業を通じて社会のために尽くし、また、将来のためにより暖かい社会を求めて努力しています。

今年度は特に、子供、孫、人類の子孫のために、地球環境保全のためにとロータリアンの真心を通して力を尽くしたいと考えています。

今、私達の方で出来る事はしれているでしょう。しかし、これを受け継いで、人類のため、地球環境保全に努力して頂けるのは、あなた方若い世代の青少年です。どうかインターアクトクラブの中で、そのような人間の真心を培って頂きたいと思えます。

なぜなら、世界理解、平和、環境保全など、あなた方の世代に解決しなければならない問題は非常に多くあるからです。まず、そのためには、本年度のR. I. 会長の“BE A FRIEND”“友達になろう”というテーマの下に、お互いが仲良くなり、友達同志が力をあわせる事が必要です。そして、訪れる幾多の障壁を乗り越えて頂き、また、私達の夢も達成して頂きたいと思えます。

私達は青少年の育成に励んでいます。青少年諸君も真心をもって日々の生活を送り、将来立派なロータリアンになって頂きます事を夢みまして、ご挨拶とさせていただきます。

〈開会式〉

名古屋インターアクトクラブ前田悠里会長並びに名古屋ロータリークラブ天野源博会長より歓迎の挨拶、高橋協議会実行副委員長より来賓・ロータリアンの紹介、堀田幹事より参加クラブの紹介、つづいて第2760地区蜂谷弘道ガバナー、地区インターアクト松前委員長等の挨拶をいただき、更に西尾武喜名古屋市長より「日頃地域での地道な貢献活動に対し深く敬意を表する。21世紀の超高齢化社会ではボランティアが大変大事になってくる。しかも若い世代の方々の支援が期待されてる。この協議会を通じて交流を深めながらお互いに学び、人を思いやる心をはぐくむということは誠に意義深いことであり、成功を祈念する」と激励の祝辞をいただきました。

参加 I, A, C. は、豊川(24名)、豊田高専(32名)、豊橋商業(20名)、岡崎城西(37名)、岡崎学園(50名)、安城学園(43名)、津島女子(25名)、一宮女子(55名)、光ヶ丘女子(42名)、阿久比(23名)、名古屋(18名)計369名。



〈講演会・ミュージック〉

『白血病を克服して——骨髄バンクとボランティア活動』と題して、東海骨髄バンク理事、名古屋骨髄献血希望者を募る会代表としてご活躍中の大谷貴子氏を講師として迎えました。

氏は昭和61年に当時不治の病と考えられていた骨髄白血病と診断されましたが、骨髄移植により一命をとりとめ、現在多くの白血病患者の命と希望のためにとびまわっておられます。その生き様を講演され、感動と勇気が与えられました。

つづいて、聴覚障害者によるロックバンド「ブライト・アイズ」の演奏、ブライト・アイズの皆さんは、県立名古屋聾学校時代にロックにチャレンジ、現在は社会人として働きながら休日を利用して演奏活動をしています。



耳が聞こえない人にとっての音楽活動は至難の業で、自らのハンディを克服して音の世界を切り開いたすばらしい演奏は、聴く者の心をゆさぶり、しばし拍手がなりやみませんでした。

〈立食パーティ〉

大ホールから大会議室に移動し、丹羽協議会実行副委員長の挨拶、盛田バストガバナーの挨拶と乾杯の発声の後、会食を通して楽しく交流の時を過ごしました。

〈海外研修壮行式〉

第7回ハワイ研修参加者に、蜂谷弘道ガバナー並びに高澤 隆バストガバナーより激励の言葉が贈られ、団員を代表して岡崎城西高校の水足君が誓いの言葉を力強く述べられました。

〈閉会式〉

蜂谷弘道ガバナーの講評、松前委員長より次年度ホストクラブー岡崎学園インターアクトクラブ、岡崎ロータリークラブが発表され、両クラブ会長挨拶、最後に坂本協議会実行委員長より御礼の言葉が述べられ閉会しました。

〈クルージング・ミーティング及び名古屋水族館見学〉

豪華貸切船「平成1号」によるクルージング・ミーティング。名古屋港、伊勢湾をめぐる船上での交流会、更に名古屋港水族館見学等魅力あるプログラムが準備され、午後3時より5時まで、2つのグループに分かれて実施され、参加者一同大いに楽しみ満喫しました。

今回のホスト役の名古屋ロータリークラブ並びに名古屋インターアクトクラブの皆様、大変ご苦勞様でした。心より感謝を申し上げます。また蜂谷弘道ガバナーをはじめ地区役員の皆様の御支援に対し御礼申し上げます。



1995～'96年交換学生選考結果について

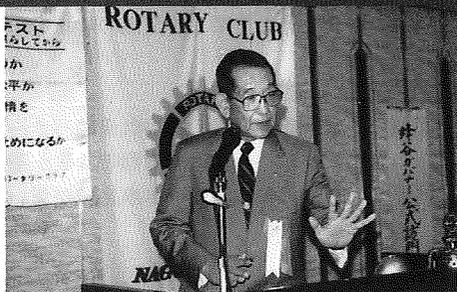
青少年交換委員会
委員長 林 光 雄

1994年8月6日、1995～'96年交換学生選考試験の結果、予定者を下記の通り決定いたしました。

No.	氏 名	希望先	学校名	在学年	推薦 RC
1	青山 奈 緒	アメリカ	愛知淑徳高	1	小牧
2	秦野 五 花	カナダ	南山中	3	小牧
3	加藤 さつき	オーストラリア	光ヶ丘女子高	2	岡崎南
4	鈴木 品 子	アメリカ	県立尾北高	1	江南
5	山畑 裕 美	アメリカ	愛知淑徳高	3	名古屋空港
6	野々山 由梨歌	オーストラリア	愛知淑徳高	2	名古屋大須
7	増見 沙弥香	アメリカ	岡崎学園高	1	岡崎
8	近藤 美穂子	アメリカ	光ヶ丘女子高	1	岡崎城南
9	今泉 幹 枝	カナダ	岡崎御津高	1	豊川宝飯
10	堀田 庄 造	アメリカ	享栄高	2	西春日井
11	阿知 波 蘭	アメリカ	椚山女学園高	1	東海
12	大 汐 剛 平	アメリカ	三河高	1	岡崎東
13	河野 峰 荷	アメリカ	県立岡崎北高	1	岡崎東
14	山 下 裕 子	アメリカ	県立半田東高	1	半田

ガバナー公式訪問

名古屋港ロータリークラブ



「充実と、情熱と。」

- 訪問日：7月22日(金)
- 会長：加野 治郎
- 例会場：名鉄グランドホテル
- 幹事：梅田 武久
- 会員数：127名

大きなスケールのクラブであり、親睦活動の充実と、奉仕活動への情熱を強く感じました。特に1クラブ拡大に向かって懸命なご努力をされ心より敬意を表します。是非とも素晴らしいクラブの誕生を祈念しております。

名古屋空港ロータリークラブ



「国際親善・社会奉仕活動に積極姿勢」

- 訪問日：7月25日(月)
- 会長：柴田 弘
- 例会場：ホテルキャッスルプラザ
- 幹事：山田 幹雄
- 会員数：72名

見るからに若々しくとても活気あふれるクラブという印象をもちました。国際親善・社会奉仕活動に大変積極的な取り組みをされ頼もしく思います。クラブ協議会での活発な討議は、私自身大変参考になりました。

豊川宝飯ロータリークラブ



「バイタリティあふれるクラブ」

- 訪問日：7月26日(火)
- 会長：寺部 良夫
- 例会場：豊川商工会議所会館
- 幹事：今泉 勝
- 会員数：69名

平均年齢52歳は、クラブに若々しさと活気をもたらし、新しい事にチャレンジする意欲を感じさせてくれます。又、河川浄化に積極的に取り組まれ環境問題への関心の高さは特筆に値し、私自身も大いに勉強させて頂きました。

稲沢ロータリークラブ



「アットホームな雰囲気好感」

- 訪問日：7月27日(水)
- 会長：木村 章二
- 例会場：東海銀行稲沢支店内
- 幹事：林 茂夫
- 会員数：66名

フェローシップにあふれ、大変アットホームで、まよりの良いクラブだと思います。特に新入会員の為のガイドブック「こんにちは、ロータリー」はとても良く出来ていて感心しました。会場に毎回飾られる「花」が良い雰囲気をさらに和やかにしてくれています。

一宮ロータリークラブ

50地区 蜂谷ガバナー公式訪問



「楽しみな『環境セミナー』の開催」

■訪問日：7月28日(木)

■例会場：一宮商工会議所

●会 長：牛田 猛

●幹 事：土川 保夫

●会員数：92名

各奉仕委員長が若い会員をどんどん起用し、活発に活動され、頼もしく感じました。又、近々開催予定の「環境セミナー」の企画内容がすばらしく大変楽しみです。アッセンブリーも活発な意見が交換され、節約、質素に心がけておられる事は、とても素晴らしいと思いました。これも又、ロータリーの大切な理念かと思えます。

新城ロータリークラブ



「高出席率を誇る」

■訪問日：7月29日(金)

■例会場：新城市商工会館

●会 長：金田 康嗣

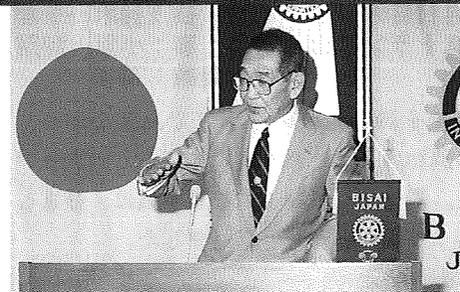
●幹 事：小笠原喜好

●会員数：64名

会員の年齢的バランスがよく、ホームクラブの出席率が高いクラブです。国際交流に力を入れられ、特に中学生の国際交換を積極的に推進しておられます。

大変和やかでハートフルな雰囲気を感じました。

尾西ロータリークラブ



「40周年を更なる飛躍のステップに」

■訪問日：8月1日(月)

■例会場：尾西信用金庫本店

●会 長：服部昌之助

●幹 事：松原 盈治

●会員数：59名

40周年という長い、伝統の中に重厚さと堅実さを兼ね備えた、朴訥な尾張の気風を感じました。

40周年事業のご成功をお祈り致します。

小牧ロータリークラブ



「新しい方向性を探る活発な姿勢」

■訪問日：8月3日(水)

■例会場：名鉄小牧ホテル

●会 長：舟橋 弘

●幹 事：舟橋 茂行

●会員数：72名

会長の年齢も若く、委員長の中にも若いメンバーを起用され活性化されたクラブです。ローターアクトへの援助も大変熱心に行われ、地域密着の社会奉仕も活発です。各委員長の新しい方向を模索する姿勢を頼もしく感じました。

ガバナー公式訪問

豊橋南ロータリークラブ



「奉仕活動・環境保全に熱心なクラブ」

- 訪問日：8月8日(月)
- 会長：塩之谷 昌
- 例会場：豊橋グランドホテル
- 幹事：中村 幸一
- 会員数：86名

クラブ全員が奉仕活動に意欲的であり、又、環境保全にも熱意が感じられました。年配の会員と若い会員の混然とした中に「和」が保たれていて、協議会の討議も大変活発でした。

犬山ロータリークラブ



「新入会員の教育に熱心なクラブ」

- 訪問日：8月9日(火)
- 会長：吉野 稔
- 例会場：名鉄犬山ホテル
- 幹事：蛭原 嘉彦
- 会員数：82名

最近、新入会員で退会された方は一人も居ないというだけあって、新入会員の教育に尽力されています。委員会活動も大変熱心で、特に現在米山の重要性への認識が高い。資料保存委員会は特筆すべきものです。

半田ロータリークラブ



「調和のとれた実にすばらしいクラブ」

- 訪問日：8月11日(木)
- 会長：鈴木 千里
- 例会場：レストラン白山
- 幹事：小栗 利朗
- 会員数：73名

創立44年の歴史を誇る伝統のクラブでありながら、老・壮・青年の調和のよくとれた実にすばらしいクラブだと思いました。活発にして紳士的な雰囲気は、好ましいロータリークラブ像の一つだと思いました。

津島ロータリークラブ



「歴史のある、バランス感覚の秀れたクラブ」

- 訪問日：8月12日(金)
- 会長：伊藤 光二
- 例会場：東海銀行津島支店
- 幹事：坂井 裕
- 会員数：96名

伝統に支えられた雰囲気の中で、老・若会員の融合がすばらしく、バランスのとれたクラブだと思いました。この経済不況の中ですが、相互努力をされ、良い奉仕活動を行っています。クラブアッセンブリーも本音の声が聞かれ、特に若いロータリアンは大いに期待を抱かせてくれました。

1995～'96年度ロータリー財団奨学生

「ガイダンス開催」

地区財団学友会(小)委員会
委員長 矢島 茂

日時/1994年7月24日(日) 10:00～13:00

場所/毎日ビル・国際サロンレッドサン

〈ガイダンス次第〉

- 1) 開 会
- 2) 地区役員並びに学友出席者の紹介
- 3) 第2760地区・蜂谷ガバナーのご挨拶
- 4) 財団カウンセラー・宮地DPGのご挨拶
- 5) ガイダンス I R財団について 星野 充
II 将学金について 小出忠孝
III 配布資料説明 矢島 茂
- 6) 将学生自己紹介
- 7) 財団学友からのアドバイス
- 8) 地区役員からのアドバイス
- 9) 質疑応答
- 10) 昼食懇談
- 11) 閉 会

1995～'96年度財団奨学生(マルチヤー2年9名、1年10名)のためのガイダンスは、蜂谷ガバナーと宮地バストガバナー以下地区

財団役員8名のご出席を賜り、国際ロータリーの財団小史、国際親善奨学生の役割と心構え、並びに留学決定までの準備と諸手続きについて、詳細な説明会を行うことができました。

特に、財団学友会から古橋武之代表幹事、帰国したばかりの'93年度奨学生牧原秀雄、阿部玲子、道木規子、出発を目前に控えた'94年度奨学生伊藤裕子、武内英公子、木谷圭子、鶴本花織、道木一弘の皆さんから、留学決定までの貴重な体験談を語っていただき、活発な質疑応答を交すことにより、有意義なガイダンスにすることができました。

しかしながら、奨学生の皆さんは留学決定までに多くの紆余曲折の場に苦勞されますので、推薦クラブのカウンセラー各位には絶大なご支援をお願い申し上げます。

会の終了にあたり、次回の将学生のためのオリエンテーションを来年1月29日(日)に開催することを決め、会を閉じました。

文庫通信 第84号

●米山月間に因んで●

「戦争と宣傳」 米山梅吉 国際ロータリー月報:1937・11月 11頁

(本文は、昭和12年11月11日、日本放送協会の依頼で、米全州に放送したものの英文および訳文)

「1938-39年度R.I.会長ジョージ C.ヘイガーから米山梅吉宛ての手紙」 1939年 1頁

「芝染太郎と米山梅吉との出会い」 吉田丈夫 1993年 2頁 札幌の情報資料室より寄贈

「日満ロータリー連合会規約及ロータリー定款及細則」 日満ロータリー連合会事務所 1940年 73頁

「日満ロータリー連合会の機構 ロータリー倶楽部の構成」 日満ロータリー連合会事務所 1940年 48頁

「日満ロータリー第一年次連合大会案内」 1940年 63頁

「What is the Rotary Club?」 R.I. 1932年 8頁

「MEMBERSHIP IN ROTARY」 R.I. 1931年32頁

「Synopsis of Rotary」 R.I. 1932年 32頁

「HELPFUL SUGGESTIONS Concerning DISTRICT CONFERENCES」 R.I. 1936年 16頁

(ビデオ)

「財団ロータリー米山記念奨学会」 D. 2770 1994年 14分

申込先(株)タナカ マイフレンド係 TEL(0489)97-7621 FAX(0489)95-9756

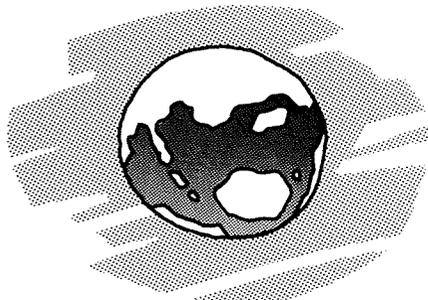
ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX (03) 3459-7506

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

水の惑星・地球の話

——三河湾・伊勢湾をきれいにするために——



豊川宝飯ロータリークラブ
伴 辰三

地球にある水の量は学者の計算するところによりますと13億7千万km³とか。海水が97.2%、南極と北極の氷が2.5%、海水と氷の量は35億年の間、増えもせず、減りもせず潮位、干満は一定です。人間他の動物、植物が使用している水量は1%以下です。産業用、生活用として使われている39.6%は地下水です。表流水は3%以下です。淡水の23%はバイカル湖にあります。南北630km、幅85km~65km、最深1,637m、336本のシベリヤの河が流入し、アンガラ河だけから流出して1秒2,000トン、秒速2mで流れ出して400年分の水量があります。4つの発電所で600万KWHの発電がされ、ロシアのアルミニウムの70%がイルクーツク市で生産されています。今、バイカル湖は世界中の学者によって国際学術共同研究が実施され、水質環境、生物進化、湖底堆積物の研究が進行中です。

地球の物質循環に、水と大気は必要不可欠です。海水が太陽熱と大気で蒸発し、雲や雨となって地下水に、川、湖、沼に、また海へと循環します。

排水（工場、家庭、し尿）は有機物及び、窒素、リン→下水→海→プランクトン→小魚→中魚→大魚→人間の食糧にという食物連鎖を行っています。水循環は動・植物の生物循環の相互作用になくしてはならないものです。

人間の体の3分の2（60%）は水分です。細胞中に24%、細胞液間に15%、細胞間流通液に5%、血漿4%、血液の85%は水分です。

この循環している水がどんどん汚染されていくとしたらどうなるのでしょうか？

体内の血管長は成人96,000km、腎臓は体内血液を1時間で15回通過し、毎日1,900ℓの血液を浄化し、1.4ℓの尿を排出しています。尿毒症になると3週間で死亡するとか。皮膚には200万個の汗腺があって体温調節をしています。汗の99%は水分です。

悪い水分は体温調節機能を低下させます。

植物の根の先端は何十億という根毛に覆われ、根の表面積の20倍以上あります。根から吸収した水とミネラルを大気中の二酸化炭素と太陽からの光エネルギーによる、グルコースと酸素をつくる作用を光合成といいます。

石化燃料→炭酸ガス→植物→酸素→動物→大気は生物循環で浄化されています。35億年という植物の営みが成層圏のオゾン層をつくってきましたが、たった65年前につくられたフロンガスによって急速に破壊され、蛙が全滅するのは時間の問題とか。紫外線抵抗力の弱い白人は続々と皮膚ガンにかかります。

先進工業国の経済成長は46億年の時間蓄積によって作り出された非更新性資源の使い捨て、汚染物質の排出、途上国の資源の収奪と、未来の子孫が使用する資源・環境の先取りという四重の不公平の上に成り立っています。“みんなに公平か”は資源と環境については全く不公平です。

自然科学の学問分野での細分化が能率化、効率化をもたらしましたが、それを追うだけ

の科学認識が現在の深刻な地球環境汚染を生んでしまったのです。

では良い水とはどういう水のことをいうのでしょうか。

- 1 健康に良い水
- 2 食品加工と調理に適した水
- 3 農業・畜産に適した水
- 4 水産業に適した水

要するに生命体に調和した水が良い水ということになります。

- 1 生命体にとっては有害なものを含んでいないこと。
- 2 海水や母親の羊水のように金属イオン、ミネラル成分をバランスよく含んでいること。
- 3 酸素と炭酸ガスが十分溶け込んでいること。
- 4 水の硬度が高過ぎないこと。
- 5 PHは弱アルカリ性であること。7.4前後
- 6 水の分子集団（動的構造）が小さいこと（クラスターの小さいこと）
- 7 活性酸素の消去物質や抗酸化剤、または酵素の働きを低下させないこと。
- 8 緑黄色野菜中のビタミンCを破壊しないこと。

生命の営みがいかに水の様々な性質に負っているかがよく分かってきたのです。

こうした水を大自然は微生物（嫌気性菌、好気性菌等）によって有機物を処理し、自然浄化作用を続けてきてくれたのです。自然に存在し、肉眼では見ることの出来ない微生物・微小生物の消化還元作用の繰り返しによって地球上のすべてが浄化され、動物や植物の死骸の山が出来なかったのです。一握りの土に50億個以上の微生物が生存していると言われ、地下2米以下には微生物は生存しにくくなります。この様にすべての物質循環の見事なバランスによって自然環境は確保されて来ていたのです。

産業革命以後、人類の工業化社会が進行する過程で、生産優先の文明が莫大な資源の消費と共に人口の急激な増大、都市集中がおり、農業、畜産の効率化による大量の化学薬

品の使用による環境汚染が進行しているのです。三河湾、伊勢湾の汚染、赤潮の発生55%以上が生活廃水、農薬、畜産排水が原因といわれています。

土と緑と水と空気の世界破壊は人類に莫大な医療費の増大をもたらします。他の動植物はすでに何万種が絶滅し、今も進行中です。

平成2年6月、水質汚濁防止法が改正され、生活排水に対する行政や国民の義務が明確に示され、いよいよ地球上の全生命体の生存を守る為に行動する方向が示されたのです。

国も地方自治体も企業も各家庭も、それぞれが目標を立てて具体的に水質改善に、汚染防止に行動を起こしました。この2、3年全国で生活排水対策事業は活発に展開されるようになりました。生活排水による水質汚濁防止には下水道施設の整備が最も有効とされていますが、これは莫大な事業費と労力を必要とします。この普及率は平成3年3月末で44%にとどまり、今後も年間1%程度の伸びしか期待出来ません。下水道だけに頼ってはいけません。水質は悪化の一途をたどるだけです。これと並行して別の手を打たなければなりません。

自浄能力を遥かに超えた河川の「直接浄化」が最大の課題になっています。

今、全国的にバイオコードによる生活排水路での水質浄化のための設置がはじまっています。バイオコードとは豊川市の組紐メーカーTBR(株)が昭和59年に開発したもので細胞ロープから輪になった細い糸の束が放射状にあらゆる方向に出ており、これに付着した微生物が増殖して排水の蛋白質や糖質などを分解、汚水を浄化するものです。大自然の川が10km~20kmと流れるうちに自然に浄化しているのを短いロープの中で一気にやっしまおうというものです。建設省や愛知県の補助金対象商品になっていますので3分の2は補助金が出ます。100万円の資金があれば300万円の浄化工事が出来るのです。これを全県下の市町村で展開すれば三河湾、伊勢湾の浄化につながることは間違いありません。

特別寄稿 2

オークとチェリーの物語

——アラモと長篠を結ぶ、緑のかけはし——



新城ロータリークラブ
会長 金田 康嗣



米国サンアントニオ市のマルギット・ネー
ジー女史から7月9日付けのお手紙が到着。
緋寒桜がポットの中でみごとな苗に成長して
いる写真も同封されていた。

桜は、かのアラモ砦跡に咲きほこる日を期
待して、昨年11月18日、新城RC福田会長以
下10人のメンバーが種子を持参し、サンアン

トニオ市ボタニカル・ガーデンで贈呈式を行
ったものである。

その式には鳳来町立鳳来中学校代表生徒12
名、付添教師3名と同町の松下教育長も参列
していた。すでに第3年度を迎えた中学生ア
ラモ訪問の日程に合わせたのである。

さて、話は5年前にさかのぼる。



1989（平成元）年5月、サンアントニオ市にあるアワー・レディ・オブ・ザ・レイク大学のドクター、マルギット・ネージーが来日し、当地を来訪された。

女史は、東京大学や早稲田大学にも学び、レイク大学では日本文化を担当する教授である。彼女は、日本人、志賀重昂（1863—1927）が、1914（大正3）年、アラモ砦跡へ建立した石碑に心をひかれ、志賀の精神と建碑のいきさつの研究調査を続けられていた。

志賀はアラモを訪れ、1836年メキシコの大軍に囲まれて死闘したテキサス、アラモ砦の勇士と、1575年の武田勝頼の猛攻に耐えた長篠籠城の勇士と全く同じで、正に忠烈は洋の東西を問わない史実に感激したのである。志賀は長い碑文の中で

「意気・豈（あに）東西の別（わかち）有らんや」

と言っている。おそらく、ドクター・ネージーの心を揺さぶったのも、この一句であろう。

志賀は、石碑の献納式で、砦跡にそびえるライブ・オーク（カシの一種）のその種子を贈られ、日本の長篠城跡と故郷岡崎の城跡へ播くことを約したという。しかし残念ながらオークは日本で育つことはなかった。

1989（平成元）年のネージー女史の来日は、

このオークの確認と建碑にかかわる調査であり、それは建碑75年記念式典開催の準備の一環であった。新城RCも短い日程を精力的に活動する女史にできる限りの便宜をはかり歓迎した。

その年11月15日、新城RC竹下会長以下10名は、はるかなるアラモの地、建碑75年記念式典に参列した。式の中で、再びライブ・オークの種子を贈られ、この場面をNHKテレビのワイドニュースは、かなりの時間をさいて報道した。

種子（どんぐり）を、帰朝と同時に愛知県林業センター（鳳来町）へ持ちこみ、ここで苗を育ててをお願いした。

1992（平成4）年、新城RC25周年記念の行事の内容として、長篠城址にその2本が植えられた。しかもドクター・ネージーは長期出張中のハンガリー（彼女の母国）の大学から駆けつけてくださり、韓国大邱RC（姉妹協約）のメンバーその他御歴々の見守る中、植樹の鍬を振るわれた。

志賀の約束は七十数年を経てようやく果たされたのである。

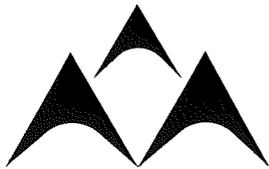
（緋寒桜贈与の話はこの式典中に生まれた。長篠城址のライブ・オーク、現在2mをはるかに越えた）



地区大会ごあんない

1994.10/29[土]・30[日]・31[月]

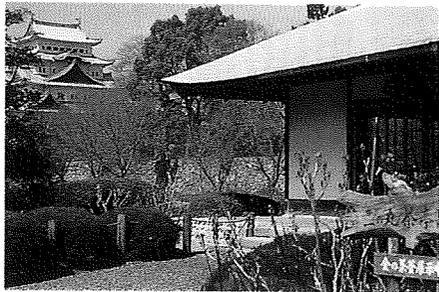
ホテルナゴヤキャッスル 緑ヶ丘カンツリークラブ



マークについて

名古屋市内で一番標高の高い東谷山(198m)の上空に広がる樹林のイメージで、守山区のイニシャルMを基

調にデザインしました。そして、地区大会での出会いと親交を深めるなかで「人にやさしく」と「未来にときめき」を感じていただくことの願いを込めまして、「人」と「自然」と「未来」の3つの調和を大切に守山の緑で表現してみました。



ファミリープログラム

二の丸茶亭のお点前と名古屋城を散策し昼食はホテルナゴヤキャッスルの「クラウン」でご味わいただけます。

人・自然・未来の調和を大切に

やさしさ・ときめきのある街

出会いと親交を深めよう。



愛工大名電高校ブラスバンド



世界の音楽(大会第2日目)

地区大会スケジュール

10/29(土)

大会本会議第1日
ホテルナゴヤキャッスル

- 10:00 地区諮問委員会
信任状資格審査委員会、規定審議会、
選挙管理委員会、大会決議委員会、
登録委員会
- 11:30 R.I.会長代理を囲む昼食会
- 12:00 本会議登録受付 —— ※1
- 13:00 本会議開会
- 14:20 ロータリーミーティング —— ※2
テーマ「ロータリーの原点」
「ロータリーの真髄を究め、
真のロータリアンをめざそう」
- 16:30 表彰
- 17:00 本会議閉会
- 17:20 R.I.会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
- 19:30 閉会

※1 —— 出席義務者/会長・会長エレクト・幹事・クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・ロータリー情報の各委員長
※2 —— ご家族の皆さまにご参加していただきます。

10/30(日)

大会本会議第2日
ホテルナゴヤキャッスル

- 8:00 本会議登録受付
- 9:00 本会議開会
歓迎のこたば
R.I.会長メッセージ並びに現況報告
来賓祝辞
青少年奉仕活動紹介
委員会報告
- 12:10 昼食 アトラクション
顕彰昼食会(新PHF、MF、BF、米山功労者)
- 13:35 記念講演「運を育てる」
—— 謙虚と笑いの人生 ——
- 15:00 講評
- 15:30 本会議閉会

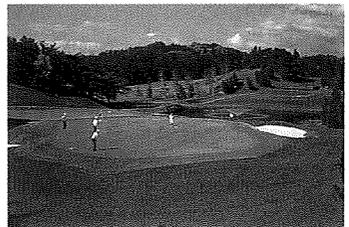
ファミリープログラム(無料)10:30~12:40

名古屋城観光と二の丸茶亭でのお茶会を楽しんでいただき、昼食はホテルナゴヤキャッスルの11階スカイレストラン「クラウン」にておくつろぎいただきます。

10/31(月)

記念ゴルフ大会
緑ヶ丘カンツリークラブ

- 7:30 登録受付
- 8:00 アウト・イン同時スタート
18ホールズストロークプレー
ダブルベリア方式
パーティー及び表彰式
- 17:00 閉会



緑ヶ丘カンツリークラブ(守山ゴルフ場)

(今回の地区大会にR.I.会長代理として、) 松本卓臣夫妻のご出席が決まりました。)

ごあいさつ

松本 卓臣

国際ロータリー第2760地区大会にR.I.会長ウィリアムH. ハントレー氏並びにオードリー夫人の代理として、私と妻寿美子が出席させて頂きますことは、誠に光栄且つ感激で喜んでおります。

私は、1992～'94年度のR.I.の理事、さらに1993～'94年度はR.I.の財務長を務めました。また私は、福山RC(1954年創立)のチャーターメンバーであり、1973年度当時は369地区(現在の第2710並びに第2690地区)のガバナーを務めました。

貴地区の皆様方は蜂谷弘道ガバナーのもと、会員数も6,000名を超え、各種の奉仕活動に積極的に参加されており、世界でも優れた地区の一つと承っております。私も是非一度お伺いしたいと思っておりましたので今回は非常に喜んでおる次第でございます。

皆様方のR.I.に対しての平素のご協力に対し厚くお礼申し上げます。

本大会において私はロータリー精神の高揚宣布、そしてR.I.のテーマ、ウィリアムH. ハントレー氏の提唱される“Be A Friend”“友達になろう”を推進する目的と更に皆様方会員御家族相互の親睦、奉仕の輪を広げるために少しでも役立てば良いかと考えております。

素晴らしい蜂谷ガバナーのもと、矢島大会委員長を始め名古屋守山ホストクラブ、その他関係者皆様方の御熱意のこもったこの大会が御成功されます様、心からお祈り致しております。

松本卓臣 略歴

生年月日 大正9年(1920年)6月1日生
現住所 福山市西町3丁目10番35号

■ロータリー歴

1954年 福山RCチャーターメンバー、シニア・アクティブ(染色捺染)理事、幹事、会長、分区代理を経て
1973年 第2710地区ガバナー
1975年 1976年 国際協議会のグループディスカッションリーダー
1975年 1976年 地区ロータリー情報研究会カウンセラー
1978年 第2670地区、1982年第2650地区大会にR.I.会長代理
1982年 R.I.青少年活動委員会委員
1983年 1986年第二回国際ロータリー規定審議会代議員
1992年 第3480地区年次大会にR.I.会長代理
1992年 1992～'94年度R.I.理事

1992年 第2670地区・第2680地区年次大会にR.I.会長代理
1993年 1993～'94年度R.I.財務長
1994年 第2510地区年次大会にR.I.会長代理
1994年 R.I.立案委員会副委員長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ロータリー財団特別功労賞及び同財団功労表彰状を受賞
ロータリー米山記念奨学会常務理事 米山功労者

学歴 東京商科大学(現一橋大学)卒業
職歴 横浜正金銀行(現東京銀行)勤務を経て、福山瓦斯(株)取締役社長、山陽染工(株)、中国紡織(株)、ダイヤ石油(株)の各会長、並びに広島ホームテレビ、福山グランドホテル、備南観光、福山テレコム等の役員。

公職 福山商工会議所会頭、松永カントリークラブ理事長、福山大学理事・評議員、財団法人松本育英会理事長、元広島県教育委員(3期)など。

登録・宿泊のお知らせ

大会登録料——17,000円(会員)
10,000円(ご家族)
R.I.会長代理ご夫妻歓迎晩餐会——20,000円(お一人様)
記念ゴルフ大会登録料——8,000円(プレイ代は別)

宿泊につきましては、大会期間が「わかしゃち国体」と重なり、名古屋市内のホテルは1年前にすでに予約で満杯の状況であり、大変ご迷惑をお掛けしますが宿泊を希望される方は各々でご手配くださいますようお願い申し上げます。



名古屋守山 1994～'95年度
国際ロータリー
第2760地区・地区大会

地区大会事務局/名古屋守山ロータリークラブ
〒450 名古屋市守山区名駅4-9-10 名古屋都ホテル内
Phone052-561-7559 Fax052-561-1590
ホスト——名古屋守山ロータリークラブ
大会会場——ホテルナゴヤキャッスル Phone052-521-2121代

ATTENDANCE REPORT

R.I.2760地区7月度 出席報告

分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	例 会 数	会 員 数			分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	例 会 数	会 員 数			
				1994年 7月1日	当 月	増 減					1994年 7月1日	当 月	増 減	
尾張第一分区	知 多	100.00	4	48	48	0	西尾張分区	あ ま	99.75	4	100	101	+1	
	半 田	99.20	4	72	74	+2		尾	西	94.56	4	59	59	0
	半 田	99.59	4	65	66	+1		一 宮	宮	98.30	4	92	92	0
	東 知	97.40	5	58	58	0		一 宮	北	97.30	5	86	87	+1
	常 滑	98.50	5	67	67	0		稲 沢	沢	98.86	4	66	67	+1
	東 海	96.30	4	66	67	+1		西 春	日 井	99.59	4	65	65	0
	計	98.50	—	376	380	+4	尾 張	中 央	100.00	4	49	49	0	
名古屋第一分区	名 古 屋	97.50	4	225	230	+5	津 一	宮 中 央	97.64	5	93	83	-10	
	名 古 屋	98.03	4	122	122	0	一 宮	中 央	99.64	4	71	71	0	
	名 古 屋	100.00	5	126	127	+1	計		98.40	—	681	674	-7	
	名 古 屋	100.00	4	98	98	0	東三河分区	渥 美	91.93	4	66	66	0	
	名 古 屋	99.50	4	157	157	0		蒲 郡		95.41	5	79	79	0
	名 古 屋	97.80	4	148	151	+3		奥 三	河	91.34	4	41	41	0
	名 古 屋	97.76	4	101	101	0		新 城		94.69	5	64	64	0
	名 古 屋	100.00	4	74	74	0		田 原		97.15	5	75	76	+1
	名 古 屋	98.21	4	82	86	+4		豊 橋		98.69	4	131	126	-5
	名 古 屋	99.00	4	82	82	0		豊 橋	ゴ ー ル デ ン	100.00	5	81	81	0
名 古 屋	98.64	4	73	74	+1	豊 橋		北	98.81	4	114	114	0	
	計	98.77	—	1288	1302	+14		豊 橋	南	98.72	4	86	86	0
								豊 川		95.45	4	77	79	+2
名古屋第二分区	名 古 屋	100.00	4	68	69	+1	豊 川	宝 飯	96.96	4	68	69	+1	
	名 古 屋	98.65	4	112	113	+1	田 原	バ シ フ ィ ッ ク	97.70	4	66	66	0	
	名 古 屋	99.81	5	114	114	0	計		96.40	—	948	947	-1	
	名 古 屋	100.00	4	79	79	0	西三河第一分区	岡 崎	100.00	4	116	117	+1	
	名 古 屋	100.00	4	68	68	0		岡 崎	東 南	98.90	4	81	81	0
	名 古 屋	98.57	4	84	84	0		岡 崎	城 南	100.00	4	76	76	0
	名 古 屋	98.29	4	73	73	0		岡 崎	南 田	100.00	5	111	111	0
	名 古 屋	100.00	4	106	107	+1		豊 田	東 田	100.00	4	93	93	0
	計	99.42	—	704	707	+3		豊 田	西 好	97.80	4	94	94	0
東尾張分区	犬 山	100.00	4	77	82	+5		豊 田	三	98.47	4	103	103	0
	岩 倉	94.74	4	46	46	0		豊 田	三 好	100.00	4	30	30	0
	春 日	100.00	5	82	82	0	計		99.40	—	704	705	+1	
	小 井	96.29	4	72	72	0	西三河第二分区	安 城	97.14	5	92	92	0	
	江 牧	97.91	4	74	75	+1		碧 南		100.00	4	83	85	+2
	名 古 屋	100.00	4	71	72	+1		一 色		100.00	4	56	56	0
	尾 張	99.72	5	70	70	0		刈 谷		100.00	4	95	96	+1
	瀨 戸	99.38	4	81	81	0		知 立		100.00	4	54	54	0
	瀨 戸	99.60	4	67	67	0		西 尾		95.72	4	81	81	0
	豊 山	98.58	4	62	62	0		西 尾	KIRARA	90.53	5	59	59	0
	計	98.62	—	702	709	+7		高 浜		99.45	4	47	46	-1
							計		97.86	—	567	569	+2	

地区内クラブ数72R.C. '94.7.1会員数 5970名 増加会員数 +39名
 当月末会員数 5993名 減少会員数 -16名
 当月平均出席率 98.42% 差引純増会員数 +23名

第2760地区ニュース・その他

(第2回全日本RC親睦合唱祭)参加のお願い

京都洛中ロータリークラブ 福永 晃三
 洛中グリークラブ

グリークラブなど全国にはコーラスグループの同好会をお持ちのRCも多いことと存じます。明石で開催された第1回の大会に引き続き、来春京都に於いて、第2回の親睦合唱祭を計画しています。この催しが、ロータリーの大きなイベントに育つことを願いつつ、全国から多数のグループの参加をお待ちしています。

日 時 1995年(平成7年)4月1日(土)
 午後1時 開幕予定
 午後5時 懇親会開宴予定
 会 場 演奏会場 京都府民ホールALTI
 懇親会場 京都ブライトンホテル

演奏時間 各団体15分以内
 登録締切 1995年1月末日
 登録料 1人につき13,000円
 家族 8,000円

参加条件 ●RC会員及び家族によって編成された三重唱以上の合唱
 ●複数クラブの合同でも可
 ●伴奏楽器は自由ですが、クラシック用のホールのため、PA(増幅装置)の使用はできません。

■お問い合わせ・連絡先
 京都洛中RC事務局
 (〒604)京都市中京区河原町通二条南入る
 京都ホテルアネックスビル4F
 TEL.(075)256・3741
 FAX.(075)255・7772

(財)ロータリー米山記念奨学会
 1995(平成7)学年度 募集事項の訂正について

8月初旬、各ロータリークラブへお送りいたしました「1995(平成7)学年度の募集要項(大学院生用・大学生用 各一部)」におきまして、一部誤りがございました。

ここにお詫びとともに、訂正申し上げます。

〈訂正箇所〉

1994年8月に、各ロータリークラブに送付された募集事項大学院生用(水色)及び大学生用(黄色)の、P2 項目 111の2

誤 在留資格：留学、および在留期間明記の証明書(在留期間が1995年9月30日以前に切れているものは無効)

正 在留資格：留学、および在留期間明記の証明書、在留期間が1994年9月30日以前に切れているものは無効

尚、現在使用の募集要項は訂正済みです。

以上、訂正いただきたくお願い申し上げます。

おめでとう!
 新ポール・ハリス フェロー

- 村上 博彦 ……………豊橋北RC
- 森田 通夫 ……………豊橋RC
- 中神 美郎 ……………豊橋RC
- 黒谷 尚弘 ……………豊橋RC
- 谷口清太郎 ……………名古屋RC
- 大島 浩嗣 ……………名古屋瑞穂RC

MAKE-UPニコボックス

ご協力ありがとうございます。
 ご協力頂きました金額は、8月22日現在、
 総額 1,947,200円となっております。

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

8月6日 原田 茂(渥美RC)

9月5日 大矢 勝秀(一宮中央RC)

「ポール・ハリス自伝」に思う

1994-1995年国際ロータリー第2760地区 ガバナー蜂谷 弘道

【ポールの生い立ち②】

大人になってから、一体誰に不幸の責任があるのか祖母と話合ったことがあります。

「ポール、おまえのお母さんは浪費癖が酷かったんだよ。世の中には表から夫がシャベルで食料を入れても、それ以上裏口からスプーンで投げ捨てる女がいるものだが、私から言うのも何だが、お前のお母さんはその様な女に見えたよ。お父さんがお母さんと子供たちを養う分しか稼げないのに、お手伝いさんを時には2人も雇うような人だったからね。」と祖母が言うのです。

ポールはむっとして腹が立ちました。他人の長所より短所を見つける方が簡単なのは当たり前で、しかも祖母は父の欠点については不問にしているようでした。ポールの答えはぶっきら棒でした。

「お母さんは外へ音楽を教えに行くために、お手伝いさんに台所をやって貰ったんじゃないの。でなければ僕達は餓死したんじゃない。」

すると祖母は、

「いやいやポール、子供を持った母の第一の仕事は、家で子供と一緒にいる事だよ。どんなことがあっても家にいなくちゃいけないんだよ。お母さんが子供の面倒を見ていれば家庭はうまくいくものだよ。お母さんが家庭をしっかりと守ってさえいれば、お父さんも、もっと素晴らしい仕事をしただろうに。お金で買えない尊いまごころや生きがいを得られただろうに。」ポールは心の奥深くから祖母の言った事が理解できました。

翌朝、ポールは人生で先ず最初の失敗をしてしまいました。祖母がポールの靴の紐を結ぼうとした時の事です。後になって家で一番偉いのは祖母だとわかったのですが、その時はまだそれがわからなかつ

たのです。

「足を上げなさい。」と言われてもポールは黙っていました。このちっぽけなお祖母さんは、まだ会ったばかりだというのに、次から次へと命令を乱発するのです。

「ポールやこれをなさい。」「あれをなさい。」

といった具合でした。忍耐の限度を突破したと感じたポールは、

「お祖母さんなんかしらない！お祖母さんは僕のお母さんじゃない。」と言ってしまったのです。すると、祖母は父を現場に引っぱってきて、こう言いました。

「この子はお祖母さんなんか知らないそうです。私はお母さんではないんですって。どうしたものでしょうね。」

父は、

「ポール、お祖母さんのおっしゃる事は何もかも心に止めて聞かなければならないよ。さあ、これから二人で小舎の方へ少し歩こう。」

ポールは父がこんな風に言い聞かせる時の父の心持ちをよく理解しました。勝敗は決まったのです。ポールはそれを覚り、すばやく退却しました。散歩から帰るとポールは祖母の膝によじ登って、その顔を自分の顔に引き寄せました。そして慎重にこの敵に接吻をしたのです。

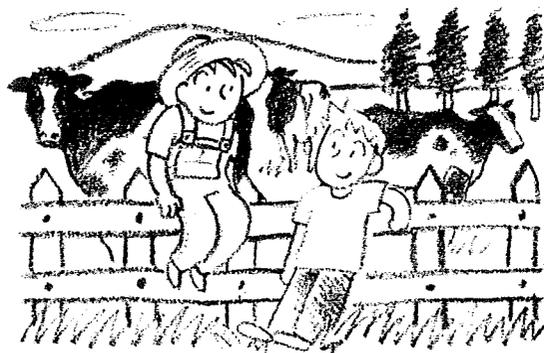
こんな事を長々話しているのは、ロータリーの創始者であるポールの一面をよく表しているからです。彼は自分の苦手な相手に対して自分の厭な感情を深めていたり、苦い情緒を育て上げるようなことは決して自分に許さなかったのです。従って多くの敵を作ったことはありません。

美しいバーモントの丘に、ロータリーの礎 いしづえ

当時、子供の夏の服装はシャツと、名状しがたいズボンと鍔の広い麦藁帽子で、靴はなく裸足でした。ぬかるみを飛び跳ねたり、朝はハットとする深い草むらの中を飛び回ったのです。都会の堅苦しい生活からポールは開放されたのです。勿論毎晩ベッドの中の綺麗なパリッとしたシーツに滑り込む前には、お湯で足をゴシゴシ洗ってもらうことになっていました。

ポールもセシルも父の様に精神的打撃はありません。食事が食べられ、服を着て快適で好きな事が出来れば万々歳でした。

祖父の家は、果樹園、野菜畑、牧草地と同じ敷地内にありました。果樹園のリンゴ、スグリの木は放っておいても文句を言いません。牧草地も納屋の周りで拾った牛糞を、手押し車に2、3台を撒いてや



ればチモシーやクローバーがたくさん育ちました。野菜畑だけは手が掛かりました。畑を耕したり、種を蒔いたり、肥料をやったり、草を取ったり、本当に手入れは大変でした。お祖父さんの汗の結晶でした。じゃが芋、キャベツ、玉葱、豆、大根等、家で取れたと思うと美味しさが一層増すのです。

ポールたちは大自然に囲まれ、自然と一体となって暮らしていると思うと、何とも言えぬ幸福感に満たされるのでした。納屋には、まぐさ棚、馬小屋、鶏小屋、薪置場、肉の貯蔵所等があり、家で飼っている牛はバターカップと言う名前の自慢の牛で、村で一番大きく乳も毎日沢山出ました。兄のセシルと

ポールが毎日牧場に連れて行きました。そのバターカップのお陰で私たちの食べるチーズもバターも一年中充分ありました。

祖母は日曜になるとセシルとポールを教会に連れて行ってくれました。古色蒼然とした教会の中は清楚で厳かでした。村人は男女子供を問わず、敬虔な態度で廊下を静かに歩いて行きました。祖母はレースで縁どりのある、色の地味なニューイングランドの安息日に相応しい絹の外着を着て行きました。家族席に着いて牧師の説教や賛美歌に耳を傾け、冥想に耽りました。たまには居眠りもしていました。その後でポールは日曜学校へも行きました。

ある日スーおばさんが突然やって来て、家中大騒ぎになりました。ポールを抱き締めてお土産を沢山くれました。スーおばさんは母のお姉さんです。以前、州の戦争で夫を失い、自分の妹の子供に夢を託していましたが、子供達と離れていることに我慢できなくなってやって来たのでした。色々話し合った結果、おばさんの熱意にほだされて、おばさんが兄セシルを連れて、母が音楽を教えながらニーナメイと暮らしている西部の町に落ちつく事になってしまいました。それでポールだけウォーリングフォードの祖父の家に残ることになったのです。

美しい村は山々に囲まれ、冬になると雪で白く覆われたので、子供達はソリを乗り回し、清々しい冷たい冬空の下で氷を蹴るスケートの音や楽しい叫び声が天にこだましました。夏は村の中をくねくね流れる小川や、近くの湖で少年達が日焼けした輝くような身体に水着も着けず、透き通る冷たい水の中に飛び込むのでした。たった一人残されたポールは、老夫婦の生活の中で活気をとりもどしました。昔のニューイングランド人の伝統と気質——質素、誠実、寛容、無私——を守る祖父と、儉約家で愛情の深い働き者の祖母の愛を一身に浴びてポールは成長したのです。ニューイングランドの二人の善良な人の献身的な教養、薰陶を、ポールは後に深く感謝しました。

セシルが去ってからポールは同年配のフェイ・スタフォードと言う少年と友達になりました。このフ

である“親睦と友情”が発芽した。

エイの髪の色といったら恐らく誰も見たことがないだろうと思われる位、その赤さは燃える炎のようでした。小さなポールは、フェイの家の前に立って、舌つたらずに、「ペイ、ペイ」と呼んで遊びに出れるかといつも尋ねたものでした。フェイとポールは一緒に野や山を走り回りました。二人は常に一緒にでした。喜びも悲しみも常に分かち合ったのでした。

しかし、数年後のある日、フェイは時々気を失いそうになると訴えていました。その二日後、彼は精神に異常をきたして精神病院に入院し、数年後には遂に死んでしまいました。フェイは蒼いバーモントの御影石の上に葬られました。ポールは初めて友を失ったのです。人生の心の彩りの中で友情程楽しさを加えるものがあるのでしょうか。もし友を持たな

ったら、人生は如何に空虚なものになるでしょうか。ポールの生涯に豊かさを与え、夢を持たせてくれた多くの友人達の長い列の先頭には、この赤毛のバーモントの少年がいたのです。彼等には実にポールの人生を生き甲斐のあるものにしてくれました。時代の流れと共に薄れていく人の心。側道からかもしませんが、ポールが声高らかに叫んだ“親睦と友情”こそが、この世の人々に精彩を与え、生き甲斐を与えてくれる最も尊いものではないかと思うのです。

ロータリーの基礎はこの友情であります。後の世に、ロータリアンが人間の友情を思う時、御影石の園に眠る我が赤毛の少年に一片の憐情を寄せることになるであります。

〈つづく〉

ロータリークラブに関する著書紹介〔その2〕



ロータリークラブ 改訂版 ——その理論と実態と批判——

- 著者/小堀 憲助
- 発行日/平成2年4月16日(改訂4刷)
- 発行所/㈱鳳舎
- 定価/1,500円(税込)



ロータリーの原点

- 著者/小堀 憲助
- 発行日/平成6年6月15日(再版)
- 発行所/千種会

お知らせ

小堀憲助氏講演会

「ロータリーの真髄を究め、真のロータリアンをめざそう」

■日時/10月29日(土)午後2時40分
〔地区大会〕大会本会議第1日

■会場/ホテルナゴヤキャッスル



千種会主宰 小堀憲助氏

大正15年1月東京都生まれ。昭和23年中央大学卒。中央大学法学部教授、中央大学第11代法学部長、中央大学付属日本比較法研究所第4代所長を歴任し、平成3年3月中央大学を退任。現在、中央大学名誉教授、精神薄弱者厚生施設ホミニス学園理事兼学園長。

ロータリー歴

大磯ロータリークラブ、東京田無ロータリークラブ、川崎北ロータリークラブの会員を経て、現在、大村北ロータリークラブ名誉会員。ポール・ハリス・フェロー、マルチプルフェロー。

千種会

ロータリーの理論研究会を目的とするロータリアン有志の研究会の主宰者。